

第7次高松市行財政改革計画（概要版）

信頼と活力に満ちた市役所を目指して

【計画期間：平成28年度～31年度（4年間）】

1 改革の背景

（1）本市を取り巻く社会環境

人口減少、少子・超高齢社会の到来、厳しさを増す財政状況、地方分権と住民自治の進展、高度情報化社会の進展

（2）市役所が抱える課題

職員数の減少及び事務量の増加に伴う職員一人一人の負担増加、職員の責任や役割に対する意識の希薄、組織活力の低下懸念

2 改革の方向性

総合計画が掲げる本市の目指すべき都市像「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」を実現するため、まずは私たち職員一人一人が新たな課題や困難な課題にも挑戦できるような職場環境や組織風土をつくり、組織全体の活力を高めるなど、総合計画の着実な推進をサポートする組織体制の強化を目指す必要があります。このため、本計画では、**市役所が抱える課題を解決し、市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる能力と意欲を持った職員の育成や組織風土を構築するための取組を積極的に推進することとします。**

3 4つの取組方針

行財政改革の取組については、本市を取り巻く社会環境等や課題に柔軟かつ適切に対処していく必要があるため、以下の4つの方針に体系化します。

取組方針 1

信頼される職員の育成と 質の高い行政サービスの提供

市民から信頼される行政運営を行うため、職員の更なるコンプライアンス意識の向上を図るほか、社会の変化に対応した施策を推進していくため、職員の意識改革と能力向上を図り、質の高い行政サービスが提供できるよう、組織の活性化に取り組みます。

取組方針 2

持続可能な財政運営の推進

必要な行政サービスを継続的に実施するため、自主財源の確保に努めながら、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、新たな課題や施策の展開に的確かつ弾力的に対応できる財政構造の確立に取り組みます。

取組方針 3

成果を重視した行政運営の推進

行政サービスを受ける市民の視点に立ち、成果を重視した行政評価に基づいた事務事業の見直しを行い、市民にとって最適な行政サービスを提供します。

取組方針 4

参画と協働によるまちづくりの 推進

市民が市政に参画できるよう、情報公開の徹底や、適切でわかりやすい情報提供、広報活動の充実に努めるとともに、市民満足度調査や広聴活動の充実により、市民ニーズを的確に把握し、市政の課題や運営について、市と市民との相互理解を深めます。

また、市民やNPO、企業など多様な主体がそれぞれの特性を發揮しながら、協働によるまちづくりを推進します。

第7次高松市行財政改革計画（概要版）

信頼と活力に満ちた市役所を目指して

4 重点取組と目標値

本計画においては、市役所が抱える課題を解決することを重点的に取り組むため、特に重要な取組方針を「**信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供**」とし、目標値を設定し、積極的に取り組みます。

重点取組 信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

指 標	現況値	目標値
市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	85.1%	100%
市民サービスアンケート（集中実施）における満足度	92.9%	100%

5 財政指標の目標値

重点取組のほか、財政指標の目標値を設定し、持続可能な財政運営に努めます。

財 政 指 標	目標値
経常収支比率	90.0%
実質公債費比率	10.0%

高松市行財政改革計画の基本的な考え方イメージ

市役所が抱える課題

- ・業務量が多く余裕がない
- ・責任や役割に対する職員の意識が希薄
- ・課、係間の連携が不足
- ・組織、課としての目標が不明確

解決するための取組

第7次高松市行財政改革計画

これからのまちづくりに向けた組織体制の強化

重点取組)

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

- ・職員の意識改革、組織の活性化に向けた取組

持続可能な財政運営の推進

成果を重視した行政運営の推進

参画と協働によるまちづくりの推進

着実な推進を
サポート

総
合
計
画

6 具体的実施項目

(1) 局進行管理による実施項目 **96項目**

(期待される効果額：約8億1千万円)

(2) プロジェクト進行管理による実施項目 **5項目**